

地域住民福祉活動 情報交換会報告

葛飾区社会福祉協議会では、身近な地域で支えあうしくみを築き、そこに暮らす住民が主体となり様々な課題の発見・解決を図る取り組みである小地域福祉活動を区内19の連合町会を基礎エリアとして、現在、18地区の自治町会連合会と民生委員児童委員協議会のご協力のもと活動を展開しています。

そうした中、昨年度「葛飾区住民福祉活動支援プログラム検討会」を設置し、住民主体の地域住民福祉活動の考え方や具体的な進め方など示した「葛飾区地域支えあい活動ガイドブック」を発行いたしました。

そこで、下記のとおり「葛飾区地域支えあい活動ガイドブック」の紹介とあわせ、更なる小地域福祉活動の推進と、よりよい地域づくりにつながるよう“居場所”と“出番”をキーワードにした新たな地域のつながりについて考える学習会を開催しました。

なお、自治町会や民生委員児童委員、サロン実施団体、地区センター長、関係機関など、124名の方々にご参加いただきました。

1. 日時 平成28年10月26日（水）午後2時～4時30分

2. 場所 ウェルピアかつしか 1階 ボランティア活動室

3. 内容

(1) 報告 『葛飾区地域支えあい活動ガイドについて』 (敬称略)

報告者：石川 克巳 (葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動担当課 係長)

(2) 基調講演 『地域支えあい活動を通じた“居場所”と“出番”の必要性とは？』

講師：渡邊 洋一 先生

元青森県立保健大学大学院 教授
NPO法人地域福祉研究室pipi 理事長

(3) シンポジウム『私流！地域支えあい活動を通じた“居場所”と“出番”きっかけづくり』

コーディネーター：渡邊 洋一 (NPO法人 地域福祉研究室pipi 理事長)

シンポジスト：堀越 克夫 (東立石さとぞくら会 委員長)

倉谷 恭平 (新小岩小松菜いちよう倶楽部運営委員会 委員長)

羽石 愛子 (ボランティアグループ かざぐるま 代表)

渡邊 渉 (葛飾区 福祉部 高齢者支援課 係長)

石川 克巳 (葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動担当課 係長)

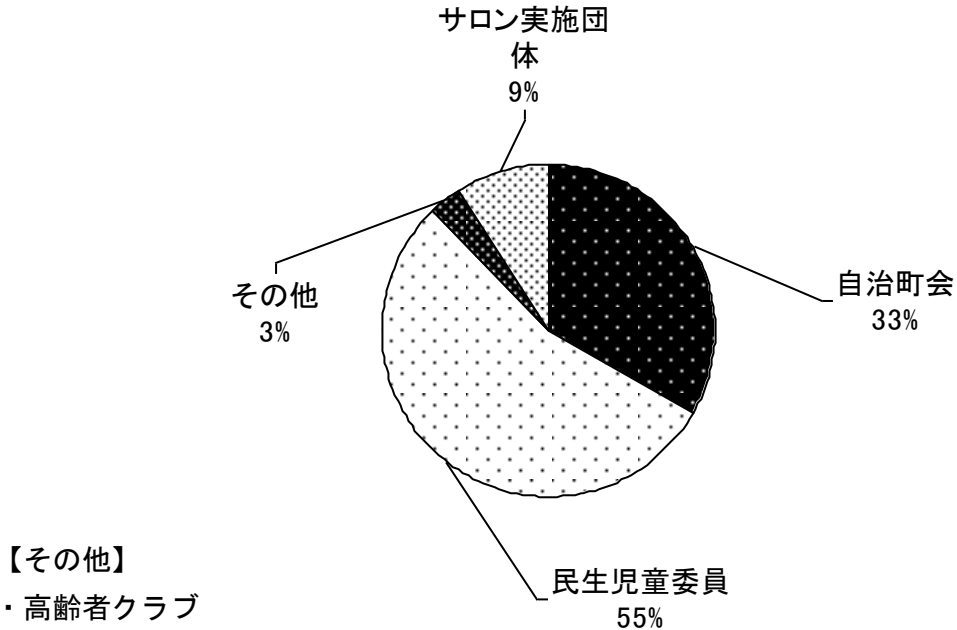
も く じ

当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・	1
地域住民福祉活動情報交換会参加者アンケート結果・・・	2
参加者からの質問及び回答・・・・・・・・	8

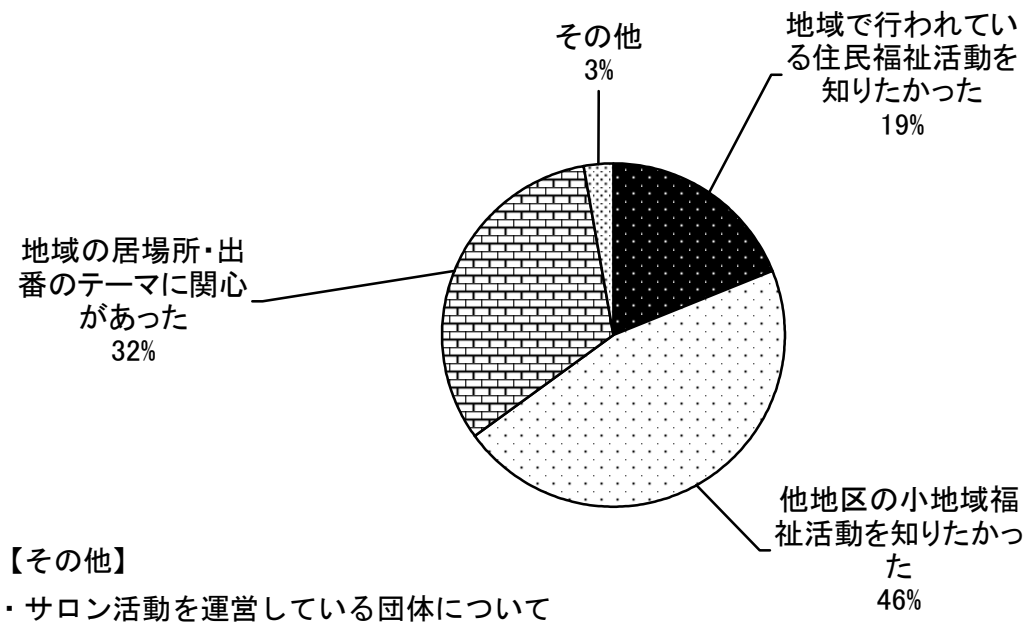
地域住民福祉活動情報交換会 参加者アンケート結果

◎ 所 属

参加者：124名

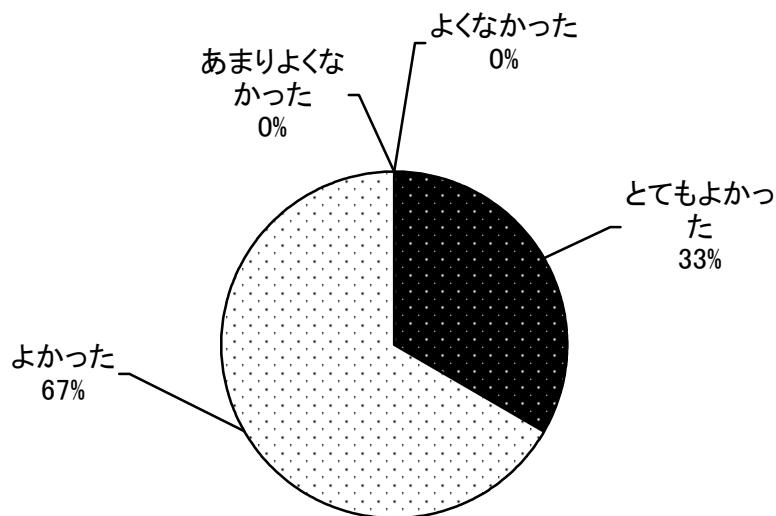


1. この情報交換会に参加された理由をお聞かせください？



2. 『基調講演』については、いかがでしたか？

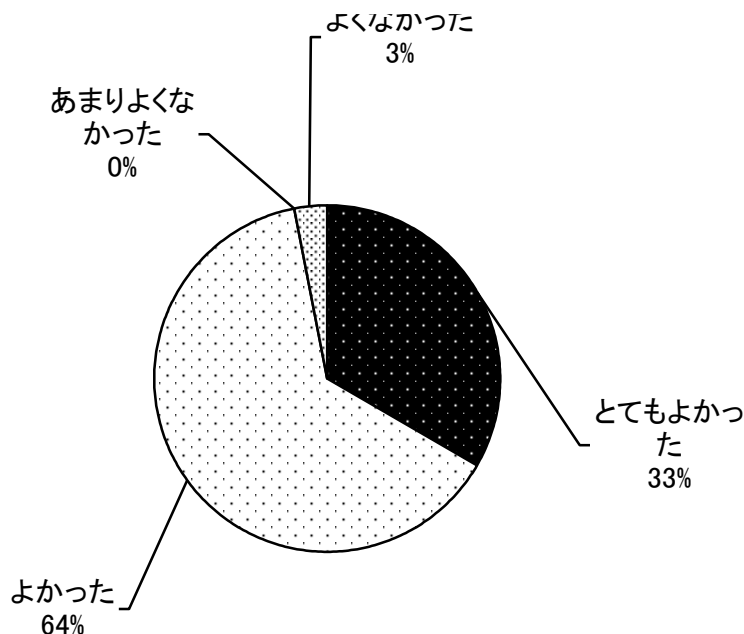
「地域支えあい活動を通じた“居場所”と“出番”の必要性とは？」について



- ・モチベーションが上がりました。(町会)
- ・人口減少、単身化社会の到来。その中で、つながりの重要性を再認識しました。(町会)
- ・ずっと疑問に思っていたことが、渡邊先生のお話を伺って理解できました。(民生)
- ・今の日本の現状を把握できてよかったです。とても日本の歩むべき姿が理解できました。(民生)
- ・適齢期がくれば、みんな結婚できるような世の中になっていければいいと思います。単身者ばかりで、これから、誰が地域を支えていくのでしょうか？ 役所に頼むと、税金や介護保険料が高くなるにし、蝮さんが言っていました、年寄り健康で元気なこと。年寄りだけで、地域は支えられない。誰か、地域をコーディネートしてくれる人がいないと、もう無理だ。孤立死だ。虐待だ。生活が苦しいから町会費が払えない。体の具合がわるい。町会だけでは、面倒みきれない。どうすればいいんだ。(町会)
- ・とてもわかりやすく、我が家も一人独身の息子がいて耳が痛かったです。親としては、何とか結婚してほしい気持ちです。(民生)
- ・小地域に、居場所と出番を積極的に取り入れるべきだ。(民生)
- ・居場所、出番が孤立を防ぐことにつながることで、自立支援、共生支援の大切さが良く理解できた。実際に、地域の誰が、連絡調整や面倒をみってくれるのか？ 町会や民生は無理だろう？ 地区センター長も無理だし、社協の地区担当職員がやってくれるのか？(町会)
- ・やっぱり出番ですね。町会は、場の提供とお知らせすることはお手伝いできるが、最後まで面倒は見られないよ。(町会)
- ・「居場所」と「出番」の必要性を、もう少し深く知りたかった。(町会)
- ・人と人の関係の大切さ、コミュニケーション不足の中での地域での支えあう生活の大切さ、サロン活動も良いことなのだとわかりました。(民生)

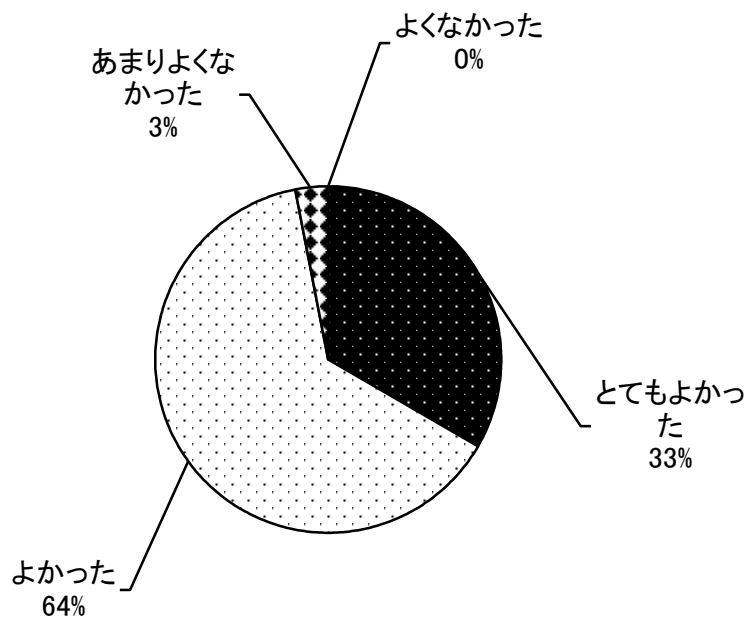
3. 『シンポジウム』については、いかがでしたか？

(1) 「堀越さん：小地域福祉活動に携わって」について



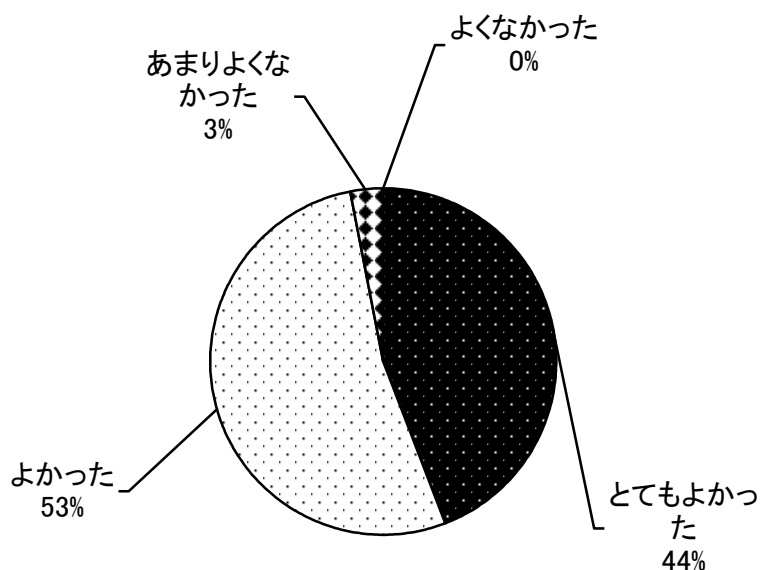
- ・ これからの参考になりました。(町会)
- ・ 活動要員の構成が自治会員、民生委員と他の方々と連携がとれている。参考になった。(民生)
- ・ 完璧を求めない！ ありのままの精神が印象的でした。(町会)
- ・ 地域の活動がわかった。(民生)
- ・ 完璧を求めないというところに門戸を開いて、会を長続きしていくカギがあると思います。共感しました。(町会)
- ・ 東立石地区の小地域への取り組む姿勢が良くわかりました。
- ・ 自治会、民生・児童委員、高齢者クラブ、色々なところからの構成員でアイデアも色々出ることは良いことだと思う。(民生)
- ・ 資金、場所が無い中、頑張っていると思う。(町会)
- ・ 防犯パトロール、交通監視、歳末警戒などを行っているとのことですが、町会で活動もしていると思いますが、その関係は、どうなっているのか、もう少し知りたかったです。(町会)
- ・ 知らない関係から挨拶のできる関係になるところが、サロン活動の良いところですね。(民生)
- ・ 助け合う心と意欲のある人を各町会と協力することが大切だと思う。(民生)

(2) 「倉谷さん：町会と地域をつなぐ」について



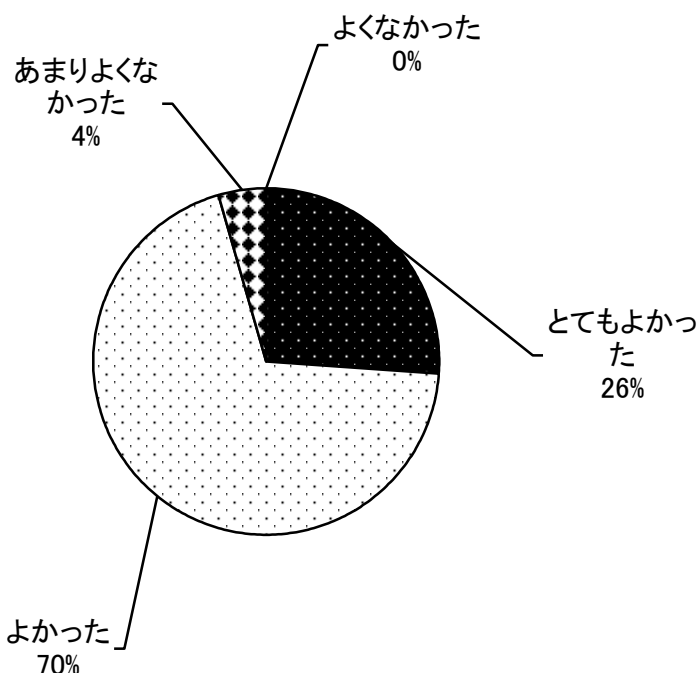
- ・単一自治会で多彩なイベントを行い、なお且つ、参加者への呼びかけをして輪を拡大しているところが良いと思った。固定されたリピーター参加者では、張り合いが無くなる。
(民生)
- ・一緒に作業する、考える。自分だけでなく他者があつての活動。(町会)
- ・具体的な活動が理解できた。(民生)
- ・町会行事かなと思った(民生)
- ・区からの補助も利用している様子。多くの活動をしているのにびっくりした。(民生)
- ・特技の発表は、とても良いことだと思います。(民生)
- ・資金がたくさんあるように思えた。だから、何でもできると思う。(町会)
- ・色々な行事を行って出番をつくっているのを知りました。特に、新小岩文化祭、新小岩ふれあいまつりは参考になりました。新小岩地域は、商店街も多く色々とコミュニケーションが取れてうらやましいです。(町会)
- ・自分の居場所は、自分で見つける。町会に参加するのも、ボランティアに参加するのも、自分の居場所づくりだと思います。(民生)

(3) 「羽石さん：団地自治会に根付いた居場所づくり」について



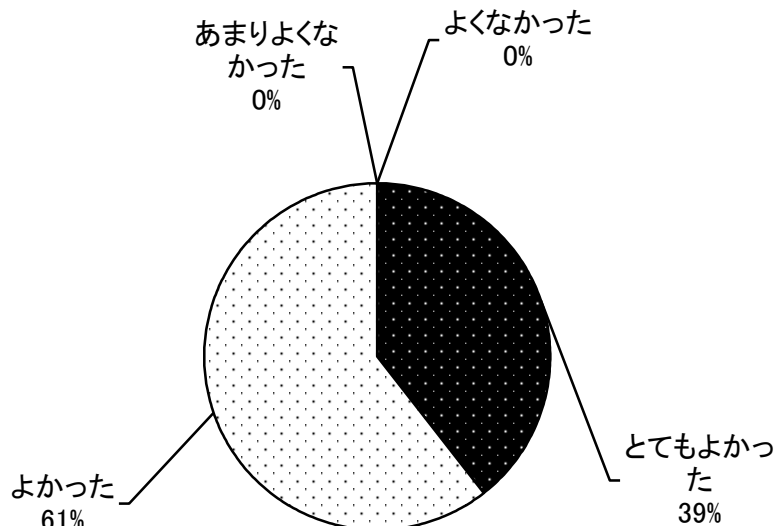
- ・団地の特殊性が良くわかった。見守り支援活動が出来ている。良く活動されている様子が感じられた。羽石さんの情熱が感じられた。(民生)
- ・ボランティアは貯金である。やがて自分も老いる。人の世話を受ける。そうですね。わかりやすかった。(民生)
- ・独居高齢者をターゲットに手厚い福祉活動を行っており、頭が下がります。(民生)
- ・声かけのタイミング程度など、参考になりました。(民生)
- ・羽石さんが上手にリーダーをやっているから、全体もうまくいっているのでしょう。(民生)
- ・住民にとって、お声がけをしていただけることは、大切でありがたいことと思いました。(民生)
- ・理想的な活動で感心しました。(民生)
- ・具体的な話が、たくさん出ていて良かった。(町会)
- ・案内チラシを一軒一軒、手渡しする、すごい努力。(民生)
- ・長い間、活動しているのに感心いたしました。(民生)
- ・ボランティア貯金について、とても良かった。私も、そう考えることにしました。(高齢者クラブ)
- ・ボランティアは貯金。出番のきっかけづくりは参考になりました。(民生)
- ・いつも見守りをしていることが良かったと思った。(民生)
- ・20数年前から活動されていることは素晴らしい。(町会)
- ・団地の一人暮らし高齢者が増えている現実で、役員さん達のご苦勞がわかります。20年も続けていらっしゃることに感心しました。(民生)
- ・開催チラシの手渡しは非常に良いと思います。地域、世帯の多い町会なども班割したりして対応したい。(町会)

(3) 「渡邊さん：支えあいによる地域づくり」について



- ・ 詳しい情報をありがとうございました。(民生)
- ・ 75才以上の高齢者が平成37年度には、58.3%になるということには驚きました。(民生)
- ・ 今後の区の制度や取り組みがわかった。(町会)
- ・ とてもわかりやすいスライドで、勉強になりました(民生)
- ・ 葛飾区の状態や方向性が見えて良かった。(民生)
- ・ 税収の少ない部分をボランティアが埋めるということが、社会資源の活用になると思った。(町会)
- ・ 親近感のない説明一辺で面白くなかった。具体的な事例などがあればと思う。(民生)
- ・ 行政の協力が無いと、地域の中で、支えあい活動の仕組みはできない。(町会)
- ・ 渡邊先生の国の考え方の話を聞いて、次に渡邊係長さんの葛飾区のお話を聞いて、すごくわかりやすかった。もっと地域の方々に、介護保険制度の話をしていかないと、地域の方々は知りません。この間、嶋さんが、このあたりをわかりやすく、年寄りには健康で元気にいなきゃいけない。若者に介護保険料や年金の負担を増やしちゃだめだよって言っていました。今日のような会を、各地域でやってください。そうすれば、介護保険制度について理解できて、元気な年寄りも、地域活動に協力してくれる。(町会)

(4) 「石川さん：小地域福祉活動はこれから」について



- ・パワー全開での熱のこもった説明に力をいただきました。このパワーが必要なのですね。(民生)
- ・活動した上で、まだまだ難しいことが多い。月1回にするには、協力者が必要。(民生)
- ・わかりやすい説明、報告でした。居場所 → 活動する場所(出番) → 役割・手伝い、活動起こし → 発見・つなぐ → 情報交換 → ふれあい(コミュニケーション)(町会)
- ・起こす！ 発見／つなぐを大切に、今後も活動していきたいです。石川さん、わかりやすい説明でした。(町会)
- ・地域により、事情が違うのであまりお尻を叩かないでくださいね。(民生)
- ・まさに、小地域福祉活動の大切さを実感しました。(民生)
- ・参加者の出番、役割を作ることが大切だということがわかりました。私たちの課題が見えてきました。(町会)
- ・とてもわかりやすくお話をしていただき良かったです。(町会)
- ・毎年、サロンを行っているが、やはり一人暮らしの人は食事会を行うのが楽しみの様です。(民生)
- ・小地域福祉活動の広がり、方向づけることができました。(民生)

4. 今回の情報交換会の内容で共感し、影響を受けたと感じること、自分が学んだと思う3つのことをお書きください。

- ・渡邊先生の講演の中で、健康の予防は運動・食物・セサミよりも、大切なのは人と人とのコミュニケーション(ふれあい)であるとの言葉が印象に残った。
- ・自分一人ではなく、人間は互いに助け合っていくことである。
- ・重荷にならなような型でやりたいと思います。
- ・一人暮らしが増え、サロン活動が喜ばれること。
- ・完璧を求めない。

- ・共に作業する、考える。
- ・特技を伸ばす。活かす。
- ・ボランティア活動は、自分に返ってくる預金。
- ・介護保険がどんどん変わる（お金がない、介護保険料の値上げ）、自分たちで何とかしていかないと、役所はお金がないからだんだん当てにできなくなるのを感じました。
- ・地域に浸透するように努力していきたいと思いました。
- ・サロンづくりを活用する大切さ。サロンをただやればいいのではなく、地域の中でサロンをやっている人たちとつながっていく。同じ仲間同士で助け合っていく。
- ・サロンに参加する人の出番づくりの配慮の必要性。
- ・時間がゆったりと流れる時がほしい。ボランティアができる心を皆さん作り上げたい。
- ・渡邊先生のお話で、担当地域に東京大学中退の引きこもりの男性がおり、大変身につまされました。
- ・次世代の担い手は、中高生なので交流できるきっかけがほしい。羽石さんがうらやましい。
- ・出番のきっかけづくりの方法。
- ・後継者の難しさ。
- ・自分の居場所、出番は自分で見つける。
- ・生きがい「誰かの役に立っている自覚をもつ」。
- ・サロンの場所以外でも交流ができる。
- ・ボランティアグループを何人かで作ることが大切だと思う。
- ・食事会、茶話会、サロン会を作る。

4. 本日、または今後の地域住民福祉活動情報交換会について、ご意見や要望等があればお書きください？

- ・今回、はじめて情報交換会に参加して19地区の中でもっとも小さな地域（町会）ですが、小粒は小粒として高齢社会に向けて地域の活性化が進めて行ければと思っています。
- ・社協活動をはじめて知った。葛飾に34年、住んでいて全く知らなかった。
- ・活動目的の発表であったという感じです。
- ・今後の地域づくりをするに当たって大変参考になりました。起こす、発見／つなぐを意識して活動していきたい。
- ・もう少し時間がほしかったかなと思いました。少し消化不良。発表者の方とのやり取りがしたかった。
- ・本日、この会に参加させていただきありがとうございました。今後の地域活動に活かしてまいりたいと思います。
- ・皆さん、立派なお話で良かった参考になりました。まだまだサロンの開催場所は地域の中では、限定されていて奥戸のように3ヶ所もありません。石川さんのアドバイスを参考にしながら協力者を広げていきたいと思っています。その時は、石川さんのお力添えをお願いしますね。
- ・民生委員の方は、今日の話地域の方に教えてほしい。これからのことで、大事な話だ。
- ・小地域の助成金について、自由に使えると茶話会をやりますので、ご検討をお願いします。